

シリーズ: 経営の高度化に向けての知の統合 ～シリーズ第 2 回 エンタープライズリスクマネジメント～

日 時 : 2009 年 3 月 30 日 (月) 13:30 ~ 16:40
会 場 : 筑波大学 東京キャンパス (茗荷谷) G 501 室
主 催 : 横幹技術協議会、横幹連合
共 催 : 統計数理研究所リスク解析戦略研究センター

参加費 : **横幹技術協議会会員企業の関係者、横幹連合会員学会の正会員、学生は無料。**

【上記以外】一般 5,000 円

参加申込 : 【事前登録】 ホームページ(http://www.trafst.jp/cgi-bin/forum_19_1.cgi?step=1) よりオンライン登録いただくか、下記の参加申込書にご記入のうえ、fax または電子メールにてお申し込みください。
(氏名、所属、連絡先 Email、TEL、参加費の支払い方法等をご明記ください。)

【当日申込】 当日直接、受付へお越しください。(ただし定員に達し次第、受付終了となります)

【企画趣旨】「シリーズ: 経営の高度化に向けての知の統合」

持続性重視への転換、その中での先進国/新興国の相互関係、今後ますます深刻化する資源の制約、人間の発展欲望と規制のバランス、多様な信条・価値観の共存など、現代社会の抱える課題は極めて複雑化しており、多様な知を結集しなければ解を見出すことは不可能である。

これに伴って企業の経営環境も大きく変化してきており、今後もさらなる変化が予測される。経営の最終的判断は経営者の決断に委ねられるとしても、高度な経営判断を支援する各種の分析・予測技術の必要性は急増するであろう、その種の経営支援技術の高度化も肝要であろう。

このフォーラムでは今後の経営判断の体制検討に役立てていただくことを願い、今後数回に渡り、経営の高度化を支援する工学系・人文社会学系分野の知を紹介し、その統合の道筋も議論してゆきたい。

<シリーズ第 2 回の開催趣旨>

シリーズ第 1 回は、企業自体の現状での健全性を財務・非財務データにより定量的に分析するための横断的計量モデルを扱った。シリーズ第 2 回は、不確実な環境下での企業活動、プロジェクトの将来価値を評価する確率論に基づく横断的方法論を紹介する。前回同様、この種の方法論がどのように経営の高度化に繋がるのか、あるいは、どのように繋げてゆけば良いのかについて総合的な討論も行う。

【プログラム】

13:30-13:40 開会挨拶

13:40-14:30 ◆**基調講演**
「エンタープライズリスクマネジメントの新たな潮流」

14:30-15:20 ◆**講演**
「リアルオプションによる資源開発事業評価と ERM」

(15:20-15:30 休憩)

15:30-16:30 ◆**パネル討論と総合質疑**

16:30-16:40 閉会あいさつ

司会: 椿 広計 (敬称略)

(統計数理研究所)

桑原 洋

(横幹技術協議会 会長)

刈屋 武昭

(明治大学大学院グローバルビジネス研究科長)

中岡 英隆

(首都大学東京経営学系教授)

刈屋 武昭

中岡 英隆

椿 広計(司会)

木村 英紀

(横幹連合 会長)

シリーズ: 経営の高度化に向けての知の統合 ～シリーズ第 2 回 エンタープライズリスクマネジメント～

2009 年 3 月 30 日 (月) 13:30 ～ 16:40 筑波大学 東京キャンパス G 501 室)

【 講 演 要 旨 】

(敬称略)

基調講演 「エンタープライズリスクマネジメントの新たな潮流」

◆ 刈屋 武昭 (明治大学大学院グローバルビジネス研究科長)

講演要旨: エンタープライズ・リスクマネジメントの新潮流

企業経営をめぐる経済社会環境は、グローバル化、IT 技術革新、高度の資本蓄積を背景にして、大きな進化にさらされている。資本は自らのレバレッジを求めて新しい知識を需要し、新しい知識は過去を陳腐化していく。企業経営のコアコンセプトは、価値を創り出すものと毀損するものへの対応、すなわち「知識とリスク」への対応である。この概念を明示的に経営の中心におくのが、価値創造 ERM(エンタープライズ・リスクマネジメント)の経営プロセスである。講演では、定量的な ERM 経営プロセスと戦略的リスクへの対応としてのリアルオプションの役割を議論する。ここでは、企業価値は、将来の不確実なネットキャッシュフローの現在価値として、確率分布として扱われ、リスク・リターンのお考え方が経営の意思決定の基礎となる。いくつかの具体的事例を展望する。

講演 「リアルオプションによる資源開発事業評価と ERM」

◆ 中岡 英隆 (首都大学東京経営学系教授)

講演要旨: リアルオプションによる資源開発事業評価と ERM

資源開発事業は、典型的なリアルオプションの題材として取り上げられてきましたが、実務への応用に際しては高いハードルがあります。本講演では、リアルオプションの基本となる原資産価値の測定や埋蔵量リスクの評価など、実務家にとっての課題についてその解決のためのアプローチを示し、あわせて企業において ERM の視点から事業評価を行うための方法を提示いたします。

パネル・総合質疑

「パネル討論と総合質疑」

◆ 刈屋 武昭、中岡 英隆、椿 広計

主催: 横幹技術協議会 / 横幹連合
<http://www.trasti.jp> / <http://www.trafst.jp>
横幹技術フォーラム office-kyg@trasti.jp

共催: 統計数理研究所リスク解析戦略研究センター

<第19回横幹技術フォーラム 申込書>

1.お名前： _____ 2.ご所属： _____

3.電子メール： _____ 4.TEL： _____

5.参加費区分：※該当するものに○印をつけてください。

- (a) 横幹技術協議会会員企業の関係者 (b) 横幹連合会員学会の会員 (学会名： _____ 学会)
(c) 学生 (d) その他

6. 上記5で「(d) その他」に該当する方のみ、参加費についてご記入ください：

- a) 請求書送付が**必要**な場合：【郵送先・ご請求書の宛名書き】〒 _____
b) 請求書送付が**不要**な場合：銀行振込予定 ____月 ____日頃 振込人名義 _____

【お申し込み先】横幹技術協議会 事務局 フォーラム係 tel & fax : 03-3814-4130 email : office@trafst.jp
【お振込先口座】三菱東京UFJ銀行 本郷支店 普通口座 4524554 横幹技術協議会 (オウカンギジュツキョウギカイ)
※銀行振込手数料はお振込主様にご負担ください。

交通案内

■ 筑波大学 東京キャンパス G-501室

http://www.tsukuba.ac.jp/access/otsuka_campus.html

東京都文京区大塚 3-29-1

地下鉄 丸の内線 茗荷谷駅 (出口1) 徒歩3分